



2022年度 年主題 くつながって～今、わたしを生きる～

0・1・2歳児 1月主題 「いっしょに」
月のねがい
◎神さまに守られていることを感じる(0)◎保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ(0)◎自分でやってもよとすることが増え、色々なことを試してみる(0)◎皆が神さまに守られ、愛されていることを知り、一緒に喜ぶ(1.2)◎友だちと関わりながらごっこ遊びを楽しむ(1.2)◎外気に触れながら、冬の自然の中で身体を動かす(1.2)

3・4・5歳児 1月主題 「つたえあう」
月のねがい
◎クリスマスにお生まれになったイエス様のお話を聞く(3)◎伝承遊びなどにも興味を広げ、その楽しさを友だちや保育者に伝える(3)◎霜柱、氷、雪などの冬の自然の不思議を感じ、触れながら遊ぶ(3)◎イエス様に繋がっていることの平安や喜びを共有し安心して過ごす(4.5)◎一人ひとりが、遊びの中で創造すること、試行錯誤することを深める(4.5)◎伝え合う中で、一人ではできないことや思いつかないことに会い、遊びや生活を広げる(4.5)



今月の聖句

「神よわたしたちは感謝します。」

詩篇 75:1
新年、あけましておめでとうございます。2023年という新しい年を迎えました。先行きの不透明さが続いている昨今です。コロナ禍の生活も4年目を迎えることとなります。一日も早く、コロナの収束から終息へと移行してほしいと願います。けれども、一般的なニュースは、暗く、私たちの不安を煽るようなものが多いのが現実です。コロナの問題だけではなく。物価の高騰、安全保障の問題、政治とお金の問題、政治と宗教の問題、南海トラフや水害などの問題…、私たちの不安を煽る材料はいくつもあります。それぞれの生活や人間関係で起こる個人的不安や恐れもあるでしょう。そういう中で、「感謝する」など、もってのほかだ、そんな余裕などない、と考えてしまうかもしれません。皆さんは、どのような時に感謝するでしょうか。「神よ私たちは感謝します」とは、旧約聖書の詩篇の中に出てくる言葉です。この詩篇記者は決して安泰な暮らしの中で、この言葉を発したのではありません。神抜き情報は不安を煽るだけ、失望や絶望を煽るだけで、希望を示せません。神抜き情報の裁きも完全ではありません。けれども、神在りの情報は希望を与え、その裁きは完全なのです。どんなに人が隠そうとするものも、神さまに隠せるものはありません。私たちの全てを知った上で、神さまは私たちに希望を与える。そのことを知っていたからこそ、詩篇記者は「神よ私たちは感謝します」と告白することが出来ました。そのような日々を送ることの出来る一年を過ごしたいと心から願ひ祈ります。皆さまの上に、神さまからの豊かな祝福がありますように。 協力牧師 池田基宣

1月の行事予定

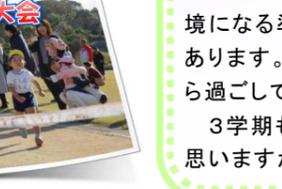
10日(火)	3学期始園式(1号:午前保育)
14日(土)	父母会役員会(am10:00~)
20日(金)	おゆうぎ会予行 ※弁当日
21日(土)	熊本地区教職員研修会
28日(土)	おゆうぎ会
30日(月)	1号振替休日(2・3号希望者)

2月の行事予定

7日(火)	冬の一日遠足 ※弁当日
9日(木)	2月生まれ誕生会
13日(月)	試走(予備日14日)
18日(土)	持久走大会
20日(月)	持久走大会予備日
27日(月)	参観日(たんぼぼ・こすもす)
28日(火)	参観日(あじさいすみれ)



2・3号認定児 新規入園申込受付期間
1/16(月)~27(金)
定員に限りがあります。お早めに市福祉事務所へお申込み下さい！
必要書類は園にもございます。



自由な時間を担保する保育

新年明けましておめでとうございます。皆様ご健勝の内に、二〇二三年(令和五年)をお迎えにいられたこと存じます。本年も、皆様にとつて希望に満ちた素晴らしい年でありますよう心からお祈りいたします。早いもので令和も五年目を迎えました。年末年始の移動等もあり、コロナ感染者も増えつつあるようです。三学期も大切な行事や活動が待っています。願わくは多くの方々と共に楽しむことができそうです。願っております。

来週の土曜日は、恒例の熊本地区私立幼稚園教師研修会です。昨年に引き続き、「子どもの主体性がいける保育者のかかわり」をテーマに、各園の実践例を出し合い、研鑽を深めます。本園は県大会の発表園ではありませんが、自園の保育を顧み、保育の質を上げるためにも真摯に取り組みたいです。子どもの主体性や自主性を考えるときに、自分自身のことを考えてみるのも面白いものです。振り返ってみると、私自身はそれを主體的に行動し、育ってきたのではないかと感じています。遊びや趣味、習い事、受験、進学、就職、転職、結婚…ほとんどこの事柄を自分で考え、逡巡しながらも自分で決断し、親にも伝えることができました。何故それが可能だったのか。それは、「自由な時間」が充分与えられていたことだと思っております。私たちの世代は、放課後に暗くなるまで、自分たちがやりたいことができました。あまり親に付度せず、したいこと思いを伝えられました。ぼんやりする時間も含めて、たくさん自由な時間が確保されていたのだと思います。幼児期、学童期と、中学以降は部活や宿題でそこそこ忙しくなっていくものの、それなりに自由な時間はあったような気がしますが、その中で主體的に成功や失敗を経験し、思考を重ねることが主体性を育てていたのではないのでしょうか。今思えば、スマホやネットがなくとも不便を感じず、とても幸せなことだと思えるのです。

乳幼児期。特に乳幼児期の子どもたちは、やりたい放題の主体性の塊です。元々生まれながらにして主体的な生き物であるのに、何故その後の生育の中で主体性が乏しい子どもが現れてくるのでしょうか。その一つの要因に「過干渉」が考えられます。あらゆることを親や保育者が決定し過ぎたり誘導していくと、「嫌だ」と言わない。言動が受け身。感情表現が乏しい「子どもに育つてしまえ、自己実現力が弱く、判断待ちの人間にならなうか」とも思いません。それ故、幼児期に自分の意思で遊び込むことは、たくさんさんの喜怒哀楽の経験を重ね、自信となり、主体的に生きるための基礎となるでしょう。日常の遊びが子ども主体で展開しているためには、園内の環境構成(シブシブとモノとヒト)が何より大切で、子どもたちを引きつけ、安全に仲間と一緒に挑戦していく「遊ばずにはいられない魅力的な空間」を整えていければと願っています。

三学期は、年長児にとつて子ども園生活最後の学期です。幼児教育の仕上げの時でもあります。それぞれの子どもたちにとって、思い出深い魅力あふれる日々を送ることが出来るよう努めてまいります。本年も宜しくお願いいたします。

園長

入学前に親子で散歩を!

年長児は、運動会を過ぎた頃ぐらいから、急に小学校を意識し始めます。就学前健康診断や教育相談が行われたり、ランドセルの準備に入ったりすることで、保護者も子どもたちも一気に気持ちが小学校に向き始めるようです。

先日、幼保小の連絡会で小学校の校長先生が話しておられたことは、「入学してきた1年生で一番気になることは、登下校で疲れているように見える。確かに車社会の現在では、車に乗せられて移動することが多く、歩き続ける経験も少ないのが現実です。一年生になった途端に、学校までの道を自分で歩いて行かなければならないのですから、子どもたちにとっては一気にハードルが上がることとなります。」

11月の月報に散歩の勧めを書かせてもらいましたが、幼児期に散歩の生活習慣があるのと無いのでは、小学校に上がったからの生活に大いに影響していきます。時間があるとき家から学校までの道のりを親子で散歩をし、周りにある風景を楽しんだり

免疫力を上げて強い体を!!

新年あけましておめでとうございます！
年末年始は、ゆっくりお過ごしになられたでしょうか？ここ数年では珍しいぐらいの素晴らしい良いお天気でしたね！我が家は、長男が成人式を迎えました。月日が経つのは、本当に早いですね。タイムカプセルからでてきた作文の数々も懐かしさ満載でした。

さて、年が変わってもあいかかわらずコロナウイルス終息にはほど遠い毎日です。でも、以前に比べてあまり情報が入らないので、つい気が緩みがちになりそうです。そんな中、「子どもが風邪を引かないために必要なことは？」という文章を読みました。季節に限らず、水分補給をすることや、屋外で遊び、日光を浴びて免疫を高めることが重要だということでした。運動することで心肺機能や発汗機能、体温の上昇、筋力アップが高まるのだということです。また、風邪を引きやすい子どもに多く見られる特徴の一つに「生活のリズムの乱れ」があることも言われているようです。ご家庭でも年齢にあった睡眠時間が足りているか、睡眠の質(寝る直前までゲームやテレビを見ると質の良い睡眠が保たれません)、食事等、普段の生活をもう一度ふり返り、この冬も乗り越えていきたいものです。まだまだ寒い日は続きますが、存分に走り、遊ぶことが体を強くする一番の効果的な方法のようです。私たち職員も平均年齢が高くなりつつありますが、子どもたちが今年も元気で過ごせるように、園庭でたくさん遊んで病気を寄せつけない体を作っていきたいと思います。

さて、3学期は、いよいよ集大成の学期です！子どもたちも自分たちの居場所を見つけ伸び伸びとしています。でも、新しい環境になる準備も同時にしていきますので、不安定になる時期でもあります。子どもたちの心の変化を見逃すことなく、寄り添いながら過ごしていけたらと思います。

3学期も保護者の皆さまには、たくさんのご協力をいただくかと思っております。何卒よろしくお祈りいたします。

森山

